

2024年12月20日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

日本公庫総研レポート No.2024-4

『アンケートと事例にみる中小製造業のリスクリングの実態』を発行

日本政策金融公庫総合研究所は日本公庫総研レポート No. 2024-4『アンケートと事例にみる中小製造業のリスクリングの実態』を発行しました。

人手不足への対応や生産性向上などが中小製造業界で求められるなか、デジタル化や省力化といった設備投資と並んで重要なのは人的資本の充実です。そこで考えられるのが、既存の従業員のリスクリング（学び直し）です。

本レポートでは、アンケートと事例から中小製造業におけるリスクリングの現状を分析するとともに、リスクリングを促進するためのポイントを考察しました。

【本レポートの概要】

1 「リスクリングに関するアンケート」の分析

最近5年間にリスクリングに取り組んだ人の割合は7.5%でした。リスクリングで学んだこと（複数回答）をみると、「ものづくりに関するスキル」（42.5%）や、「デジタルやITに関するスキル」（41.6%）が上位になっています。リスクリングの障壁を尋ねたところ、「リスクリングに対する意欲の維持・向上」が最も高く44.9%となりました。また、今後リスクリングに取り組む予定のある人は10.3%となりました。

<調査の要領>

・調査時点：2024年7月 ・調査方法：インターネット調査 ・調査対象：中小製造業で働く従業員1,500人

2 リスクリングで成果をあげる中小製造業者

事例企業はまず、「学び直したスキルを発揮できる舞台を用意する」ことや「求めるスキルに気づいてもらう」ことで、従業員がリスクリングの必要性に気づくきっかけを用意しています。次に「経営陣もリスクリングを実践する」「リスクリングの成果を共有する」「会社のビジョンを共有する」といった取り組みにより、リスクリングを促進しています。

【事例企業の概要】

企業名	事業内容	リスクリングの概要
株式会社齊藤光学製作所 (秋田県仙北郡美郷町)	ガラス材や結晶材の研磨	従業員がデジタルツールの活用やソフトウェアの開発のスキルを習得し、システムやアプリを開発。
大塚セラミックス株式会社 (茨城県下妻市)	ファインセラミックスの製造	工場長がデジタルデータの取得や分析のスキルを習得し、不良品発生率の推定により製品ごとの収支を改善。
株式会社中村電機製作所 (佐賀県佐賀市)	防爆電気機器の製造	製造部の次長が環境対策の実践に必要な知識やノウハウを習得し、電気代や材料費などのコストを削減。
レグナテック株式会社 (佐賀県佐賀市)	木製家具の製造	経営陣や従業員が地元企業11社と共同で脱炭素の実践に必要な知識を習得し、二酸化炭素の排出量を抑制。

※ 本レポートは、[こちら](#)でご覧になれます。

[バックナンバーはこちら](#)です。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第二グループ（担当：真瀬・藤田）

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー TEL 03-3270-1269